

荒廃放棄された水田及び周辺里山の復旧・保全活動と、 子ども達とともに無農薬稻作、生き物観察会を通して自然に親しむ活動

かわせみの杜 関山田・棚田の会

岐阜県

かわせみの杜 生態系保全・青少年教育 事業

活動項目	青少年教育 事業
実施場所	関市山田青田（かわせみの田んぼ・青田の田んぼ）・ 関善光寺 境内
実施時期	7月7日と8月4日（山田）・12月15日（関善光寺）
具体的な活動実施内容	<p>関市・美濃市内の小学生や近隣市町他の小学生へ稻作活動の場を提供し、冬みず田んぼに生息する生物の多様性と稻作に付帯できる生態系保全の実態を環境学習体験として学んでもらった。</p> <p>★7月7日 田んぼの（ミクロ）生きもの観察会 捕獲した生物の名前や生態をメンバーが講師になって子供たちにレクチャした。顕微鏡による微生物の観察と田んぼでの活躍、食物連鎖の説明を実施し、農薬を使わない田んぼの生物の多様性について理解した頂いた。</p> <p>★8月4日 桐屋川の定点生きもの観察会 桐谷川の生き物観察会（桐屋川の河川底の注意事項とガサガサ漁の仕方を塚原講師に最初にレクチャしてもらい、十分時間を費やし大人も子供も生物の採取を楽しんだ。全員が捕まえた生物を集め、先生に分類・生態など説明してもらい、質問にも答えるもられた。関市内の河川では、全体的に採取される生態が変わってきて、種類が少なくなる傾向にある。昨年に比較しても、各種魚類に関して、外来種の増加により、数も種類も減っていた。</p> <p>★12月18日 活動状況報告会 生きもの観察会の生息生き物の写真を交えて報告する。調査に参加してくれた子供たちの感想を聞く。 同時に、農薬の影響を受けていると思われるが、桐屋川でも市全体的にも採取される生態が変わってきて、種類がどんどん少くなる傾向にある。農薬の散布や外来種の増加により数も種類も減っていた。 講師の先生も来ていただいたので、周辺の自然の観察に出かけ、木々にいる生き物や鳥の声などを聞き分けた。</p>

<p>活動状況 7月7日</p> <p>天気 雨のち曇り かわせみの田んぼ</p>	  
<p>活動状況 8月4日</p> <p>天気 晴れ時々曇り かわせみの田んぼ・桐屋川</p>	



活動状況
8月4日

天気
晴れ

桐屋川





活動状

況

12月

15日

天氣

雪 晴
れ

関善光
寺



かわせみの杜 生態系保全・青少年教育 事業

活動項目	活動内容・成果報告事業
実施場所	関市文化会館 関市環境フェア2024
実施時期	令和6年10月19日
具体的な活動実施内容	<p>① 取り組みの写真と体験内容を表現し、報告会へ参加した関市の住民の皆さんへより良くご理解頂ける様、目で見て具体的な活動内容を理解してもらった。</p> <p>② 実際に、足踏み脱穀機や千歯こぎを目で見て、触っていただき、踏んで回す体験をしていただくことで、機械を使わない稲作の大変さと、環境へのやさしさを理解してもらった。</p> <p>③ かわせみの田んぼの周りの状況を写真で説明し、林に囲まれた小規模な扇状地であり、生き物にとっては、天敵から身を守りやすい地形を説明をし、年中湛水している水中や泥の中や、土の中に埋もれた枯れ葉や木の丸太に生息する生き物への環境が整っていることを説明した。 （カブトムシやクワガタなどが生息成長しやすい環境の説明）</p> <p>④ かわせみの杜の周辺で生息している絶滅危惧種や、今では珍しい生物を写真展示する事で、大切な環境を今も残せていることを理解してもらった。</p>
活動による効果	<p>① 多様な生息環境を環境フェアの場所に再現する事で、かわせみの杜へのお誘いと、眞の体験へ案内できる。</p> <p>② 五感で体験してもらうことで、強烈なイメージを体験頂き、次の体験のアプローチに、積極的に参加を促す機会とする。</p> <p>③ 環境フェアでの体験を通じて、関市内にも素晴らしい環境が残されている理解と、いつでも体験ができる機会がすぐそこにある事を理解して頂く。</p> <p>④ 食の大切さや農作業に対する理解、農薬や健康への関心の提議・</p> <p>⑤ 五感での農具体験で、機械化以前の農作業にはない自然にやさしい農作業の推進、従事者の育成。</p> <p>無農薬栽培水田に生息する生き物の展示により、関市内に素晴らしい自然環境があることの発信、自然環境保全の必要性の理解</p>
活動状況	

